

# 事業区分 令和3年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

## 事業名 星空観察会①

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
- [後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会
- [期 日] 令和3年7月10日(土)～7月11日(日)
- [活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家
- [参加者] 35名(参加申込数:740名)
- [講師] 平塚 勝一 氏(所属:産山村教育委員会)
- [担当職員] 2人
- [ボランティア] 3人

### 1 趣 旨

他機関や各種団体との連携を図り、阿蘇の星空観察を通して自然の素晴らしさを味わう機会とする。また当交流の家を地域の方々に開放することで、身近に利用できる施設として周知を図り理解につなげる。

### 2 目 標

- (1) 阿蘇の星空観察を通して自然の素晴らしさを味わい、体感する。
- (2) 家族で交流の家を利用することで、研修支援での家族の利用へ繋げ、体験活動の促進を目指す。

### 3 事業展開

#### (1) 研修プログラム

7月10日(土)		7月11日(日)	
17:00	【宿泊者受付】(17:00～)	7:00	起床(6:30)
18:00	入所OR※(17:30～)	8:00	朝食
	夕食・入浴(18:00～)	9:00	宿泊室の清掃・退所点検
19:00	【日帰り受付】(19:00～)	10:00	退所
20:00	星空観察会(19:30～)	11:00	
21:00	(雨天時:星座のお話、ダジック・アース等)	12:00	
22:30	振り返り・アンケート		

※入所OR…宿泊に関する施設の利用方法の説明をします。

## (2) 活動の様子



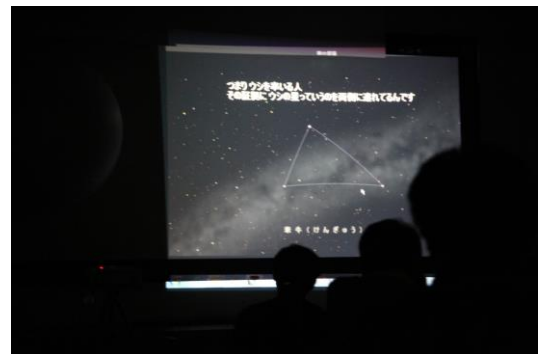
【星座早見盤作成】



【星座早見盤の使い方】



【星に関する絵本の読み聞かせ】



【天体解説】

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- 荒天ではあったが、参加者からは概ね満足の回答を得ることができた。
- 前半のクラフトの時間では、低年齢の参加者は別に絵本の読み聞かせを実施し、年齢層にあわせたプログラムを提供でき参加者からも好評であった。
- 星空体験会をとおして、星空の観察によい条件（光害やPM2.5等の影響が少ないなど）と星空と参加者の居住している地域の違いを意識させ、SDGsについても身近な問題と感ぜさせることができた。
- 2名は法人ボランティア初参加者だったが、それぞれ役割を与えることで十分な達成感を感じることができた。

### (2) 課題

- 参加者の年齢幅があると、低年齢の参加者には難しくなってしまった。  
低年齢の参加者がいる場合は、その対象に合わせたプログラムに変更したり、募集段階で参加対象年齢を絞るなど対応が必要。
- 宿泊者の入浴・食事のスケジュールがタイトすぎた。計画当初には団体がいなくても、実施段階では他団体もいることがあるので、食事、入浴時間は最低2時間は設定する必要がある。